

都道府県健康増進計画に位置付ける目標項目

基準指標		データソース	
日頃の生活習慣	適切な生活習慣を有する率	脂肪エネルギー比率	都道府県健康・栄養調査
		野菜摂取量	都道府県健康・栄養調査
		朝食欠食率	都道府県健康・栄養調査
		日常生活における歩数	都道府県健康・栄養調査
		運動習慣のある者の割合	都道府県健康・栄養調査
		睡眠による休養が不足している者の割合	都道府県健康・栄養調査
		喫煙する者の割合	都道府県健康・栄養調査
	多量飲酒者の割合	都道府県健康・栄養調査	
普及啓発による知識浸透率	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を知っている人の割合	都道府県健康・栄養調査	
境界領域期・有病期	内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	肥満者の推定数(成人・小児)	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群の推定数	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		糖尿病予備群の推定数	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		高血圧症予備群の推定数	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者の推定数	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		糖尿病有病者の推定数	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		高血圧症有病者の推定数	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		高脂血症有病者の推定数	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)新規該当者の推定数	健診データ
		糖尿病発症者の推定数	健診データ
	高血圧症発症者の推定数	健診データ	
	高脂血症発症者の推定数	健診データ	
	健診・保健指導の実績	特定健診実施率	都道府県健康・栄養調査 健診データ
		特定保健指導実施率	都道府県健康・栄養調査 健診データ
医療機関受診率		都道府県健康・栄養調査 レセプト	

※塗りつぶした欄は医療費適正化計画にも位置付ける予定の目標項目

基準指標		データソース	
重症化・合併症	疾患受療率	脳血管疾患受療率	患者調査(3年ごと)
		虚血性心疾患受療率	患者調査(3年ごと)
	合併症率	糖尿病による失明発症率	社会福祉行政業務報告
糖尿病による人工透析新規導入率		日本透析医学会	
死亡	死亡率	脳卒中による死亡率	人口動態統計
		虚血性心疾患による死亡率	人口動態統計
	健康寿命	平均自立期間	都道府県生命表(5年ごと) レセプト
		65歳、75歳平均自立期間	都道府県生命表(5年ごと) レセプト
		(平均寿命)	都道府県生命表(5年ごと)
(65歳、75歳平均余命)	都道府県生命表(5年ごと)		

(参考)上記に含まれない「健康日本21」代表目標項目のうち、健康指標として都道府県健康増進計画に位置付けるもの

基準指標		データソース
がん	がん検診受診者数	国民生活基礎調査(3年ごと)
こころの健康	自殺者数	人口動態統計
歯の健康	8020の人数	歯科疾患実態調査

糖尿病の有病者・予備群等の動向

－ メタボリックシンドローム、糖尿病、高血圧の有病者・予備群の場合 －

		今年				
		正常	予備群	有病者	重症化 合併症	未受診
昨年	正常			悪化		
	予備群					
	有病者	改善				
	重症化 合併症					
	未受診					X

(単位:人)

糖尿病の場合では HbA1cと空腹時血糖を両方実施している場合はHbA1cで評価する
 正常 HbA1c 5.5%未満 又は 空腹時血糖 110未満 ……①
 予備群 ①ではなく HbA1c 5.5%以上6.1%未満又は空腹時血糖110以上126未満 ……②
 有病者 ②ではなく HbA1c 6.1%以上 又は 空腹時血糖126以上 ……③
 重症化・合併症 ①、②、③に関係なく 心疾患・脳血管疾患・透析の治療を行っている者

集団のリスクの減少の評価

－ HbA1cとレセプトで評価する場合 －

		今年				
		正常 ~5.4	予備群 5.5~6.0	有病者 6.1~	重症化 (透析等)	未受診
昨年	正常 ~5.4			悪化		
	予備群 5.5~6.0					
	有病者 6.1~	改善				
	重症化 (透析等)					
	未受診					X

(単位:人)

目標項目の定義(1)

目標項目	目標項目の定義
肥満者の推定数(成人)	国民健康・栄養調査における方法(=日本肥満学会の診断基準)により、「立位のへその高さ」で腹囲測定、身長測定、体重測定を行い、次の3項目のいずれかに該当する者(40~74歳)。 ①BMI 25以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上 = 「上半身肥満の疑い」 ②BMI のみ25以上 ③腹囲のみ超えている(男性85cm以上、女性90cm以上)
メタボリックシンドローム予備群の推定数	ウエスト周囲径[男性85cm以上、女性90cm以上] かつ、次の3項目のうち1つ該当する者(40~74歳)。 ①中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満、またはコレステロールを下げる薬服用 ②収縮期血圧130mmHg以上 かつ/または 拡張期血圧85mmHg以上、または、血圧を下げる薬服用 ③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用
糖尿病予備群の推定数	空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満、随時血糖140mg/dl以上180mg/dl未満、又はHbA1c 5.5以上6.1未満の者(40~74歳)。但し、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者を除く。
高血圧症予備群の推定数	収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満かつ拡張期血圧90mmHg未満、又は、収縮期血圧140mmHg未満かつ拡張期血圧85mmHg以上90mmHg未満である者(40~74歳)。ただし、血圧を下げる薬服用者を除く。

目標項目の定義(2)

目標項目	目標項目の定義
メタボリックシンドローム該当者の推定数	ウエスト周囲径[男性85cm以上、女性90cm以上] かつ、次の3項目のうち2つ以上該当する者(40~74歳)。 ①中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満、または、コレステロールを下げる薬服用 ②収縮期血圧130mmHg以上 かつ/または 拡張期血圧85mmHg以上、または、血圧を下げる薬服用 ③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用
糖尿病有病者の推定数	空腹時血糖126mg/dl以上、随時血糖180mg/dl、またはHbA1c6.1%以上であるか、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者(40~74歳)。
高血圧症有病者の推定数	収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上の者、または、血圧を下げる薬服用(40~74歳)。
高脂血症有病者の推定数	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロールが40mg/dl未満、または、コレステロールを下げる薬服用(40~74歳)。

目標値設定を行う上での留意点

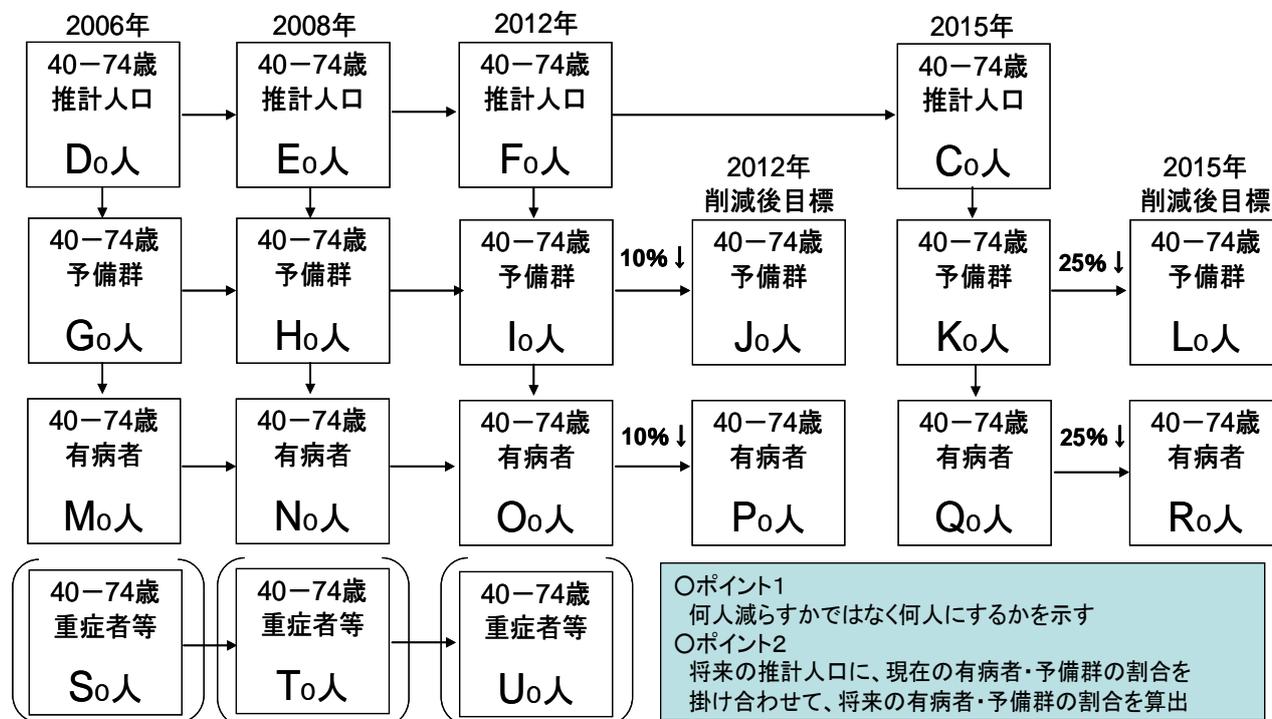
- 年月とともに、人口の年齢構成が変わるため、生活習慣病の有病者・予備群削減の目標値を設定する上では、将来の推計人口をもとに、性・年齢調整を行うことが望ましい。
- 具体的には、将来の推計人口、現在の生活習慣病の有病者・予備群の割合等を用いて、将来の生活習慣病の有病者・予備群の予測数を算出した上で、当該年度における削減後の目標値を設定する。
- 将来の推計人口には、国立社会保障・人口問題研究所が算出している都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計) (<http://www.ipss.go.jp/pp-fuken/j/fuken2002/Gaiyo02.asp>)と総務省統計局が公表している平成17年国勢調査 (<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/kihon1/index.htm>)を用いる。
- ただし、将来推計人口は、5年ごとしか算出されていないため、その間の推計人口は、さらに推計を行う。
- 各目標項目毎に、将来の生活習慣病の有病者・予備群の予測数を算出。
- 目標とする削減割合については、必ずしも25%とする必要はなく、地域の実情に応じて設定も可能とする予定。

目標値の設定方法

25%削減目標の設定のイメージ

－ メタボリックシンドローム、糖尿病、高血圧の有病者・予備群の場合 －

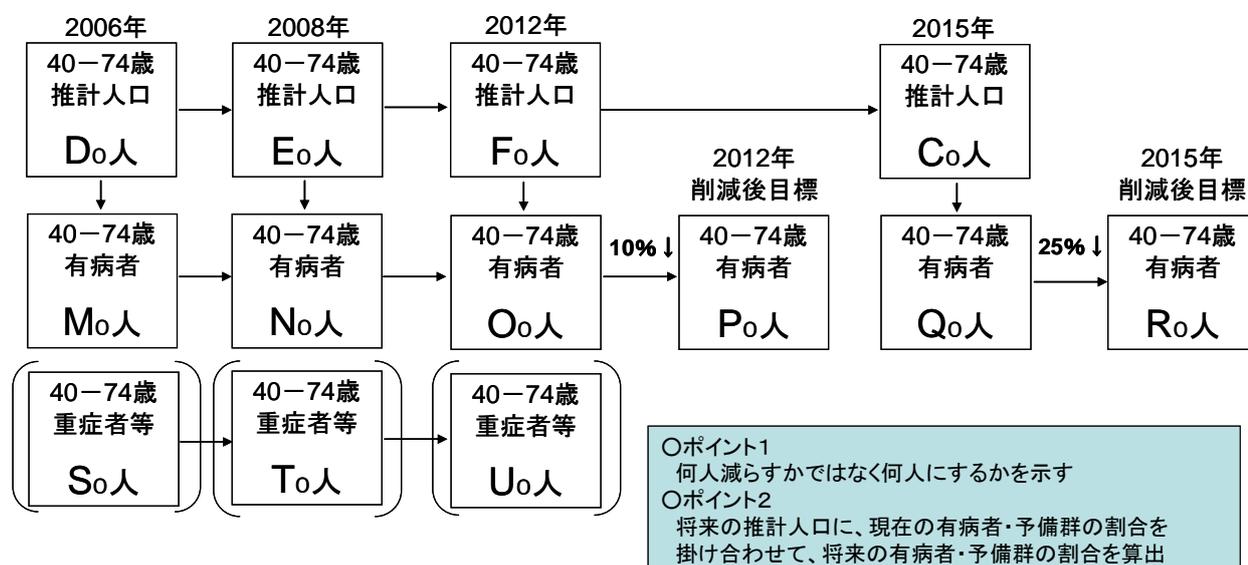
(例:2012年の削減目標10%、2015年の削減目標25%とした場合)



25%削減目標の設定のイメージ

－ 肥満者の数、高脂血症の有病者の場合 －

(例:2012年の削減目標10%、2015年の削減目標25%とした場合)



性・年齢別人口の推計方法

— 社人研の推計人口のない間の4年間 —

男	2005年	2010年	2015年
40-44	A 1	B 1	C 1
45-49	A 2	B 2	C 2
50-54	A 3	B 3	C 3
⋮	⋮	⋮	⋮
65-69	⋮	⋮	⋮
70-74	⋮	⋮	⋮
女			
40-44	⋮	⋮	⋮
45-49	⋮	⋮	⋮
50-54	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
65-69	⋮	⋮	⋮
70-74	⋮	⋮	⋮
計	A 0	B 0	C 0

計算

男	2006年	2012年
40-44	$D 1 = (B 1 - A 1) \times 1/5 + A 1$	$F 1 = (C 1 - B 1) \times 2/5 + B 1$
45-49	$D 2 = (B 1 - A 2) \times 1/5 + A 2$	$F 2 = (C 2 - B 2) \times 2/5 + B 2$
50-54	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
65-69	⋮	⋮
70-74	⋮	⋮
女		
40-44	⋮	⋮
45-49	⋮	⋮
50-54	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
65-69	⋮	⋮
70-74	⋮	⋮
計	D 0	F 0

5年計画で5年ごとに評価を行うので、1年齢階級は5歳刻みとする

将来人口推計表の例

～北海道の場合～
男性

年齢(歳)	2005年	2010年	2015年	2020年
40～44	171	169	193	171
45～49	172	167	166	189
50～54	206	168	163	162
55～59	224	198	162	158
60～64	175	214	191	156
65～69	159	162	201	179
70～74	145	141	146	182

平成17年国勢調査

都道府県の将来推計人口

出典：都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)：国立社会保障・人口問題研究所(<http://www.ipss.go.jp/pp-fukun/j/fukun2002/Gaiyo02.asp/>)
平成17年国勢調査：総務省統計局(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/kihon1/index.htm>)